

災害情報研究会 R1(H31)年度 第10回会議事録

日時： 令和2年3月13日(金) 15:00-17:30

会場： BCAO 事務所 B1 会議室

出席者： (9名：敬称略・順不同)

市川、高橋、杉山、上倉 (BCAO 会議室参加)

水落、野田、前田、宮角、中村 (ZOOM 参加)

議事： 新型コロナウイルスについて (情報交換)

1. 前回議事録確認

2. 情報交換

- ・ 以前の新型インフルエンザの際に検討した事案の展開が役に立った。当時想定した社会の動きと会社の対応を検討したプロトコル (手順) が 100 程度まで来ている。
- ・ Webセミナーを実施した。「点で始まり、戦で繋がり、面で広がる」と「機能の中国、今日の日本、明日の世界」をキーワードに行った。
- ・ 4. 5月はヨーロッパ、6月頃にアフリカではないか。中国人の渡航も多く、医療体制が弱いアフリカは心配である。
- ・ いったん収まっても変異して今度の冬に再襲来するのが怖い。
- ・ 「行かない、入ってこない、広げない、続ける」が事業継続のポイント。
- ・ 再感染の話があるが、完治せず潜伏していたものが再発症したのではないか。
- ・ ウイルスにS型L型の二種があるとの事。型が違えば感染の可能性もありそう。
- ・ 地域では高齢者が集まる地域コミュニティの取り組みが難しい。
- ・ 上場会社は株主総会について話題となっている。法務省からは三か月以内でなくても良いとのガイドラインが出ている。
- ・ オリンピックの開催はどうか？
 - ◆ スタジアムの出入り口で体温検査しても未発症だと意味がない。
 - ◆ 多くの外国人が来日するため、オリンピックが引き金で日本で大流行の可能性もある
 - ◆ ウイルスの性格がまだ判らないから延期すべきではないか
 - ◆ ワクチンや治療薬が出来れば状況は良くなると思う
 - ◆ 米国のテレビ局の圧力で強行開催するのではないか
 - ◆ 中止では無いか。会期後、選手村を売却する予定なので延期は難しいのではないか
 - ◆ 収まるまで1年かかると思う。当初延期で、結局中止になるのではないか
- ・ 経済としては旅行業の影響が大きい。インバウンド目当てのバス会社は経営難になっていると思われる。

- ・ 世界的に株価が暴落しており、経済の影響が大きい。
- ・ 中国は抑え込んだと思っており、工場なども再稼働し始めている。
- ・ ウイルスはどの程度環境下で生きているのか？
 - ◆ 諸説ありそう。ドイツの9日から米国の数時間まで幅がある。
 - ◆ 温度と湿度の関係で不活性化する可能性があるのではないか。感染の広がった韓国・イラン・イタリアの気温が同じぐらいであり、暖かな熱帯での感染が少ない。
 - ◆ 感染経路として「ふん口感染」も指摘されていた。我が国はトイレが綺麗なのでこのリスクが低いと思われる。諸外国は下水処理と使用後の「紙」の廃棄に課題有り。
- ・ 新型インフルエンザの時と同じフェーズで進んでいる。最初は毒性が強くびっくりしたが、徐々に正体が見えて来て騒ぎが収まった。
- ・ 軽症者・未発症者を含めた感染者から致命率を考えると恐れ過ぎなのではないか。
- ・ 娘がライブハウスで感染し父親が陽性となったため、出入りの工場が閉鎖・消毒となった例もある。過剰反応とも思える。
- ・ トイレトペーパーの買い占め事案は、発信者だけでなくネットでの同調者と何故熊本で買い占めが発生したかを考える必要がある。マスコミの伝え方にも問題があるのではないか。
- ・ コロナウイルスは変異が多くワクチンが難しいと言われている。
- ・ 風邪の原因の一つともいわれているが「特効薬」はないので、結局は対処療法になるのではないか。
- ・ 学校が休校となったが、子供よりも介護施設の防疫に力を入れるべきではないか。子供が媒介するリスクはあるが、高齢者は重篤化するリスクが高い。
- ・ 同時に地震・サイバーなど他のリスクも考えるべきではないか。皆で一つのリスクに集まりすぎるのではないか。

次回： 2020年 4月 17日（金）15:00～17:00

以上